

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回茨木市立沢池小学校 学校運営協議会
開催日時	令和5年12月2日（土） 午前 ・午後） 10時00分 開会 午前 ・午後） 11時30分 閉会
開催場所	茨木市立沢池小学校 1階 プレイルーム
出席者数	9人
欠席者数	1人
開催形態	公開 非公開
議題（案件）	(1) 沢池小の取り組み（夏休み～2学期） (2) 児童の健康について (3) 校内作業について (4) 欠席等の連絡のデジタル化 (5) コロナ後の学校生活について (6) 3学期のおもな取り組み
配布資料	(1) 令和5年度 沢池小学校 第2回 学校運営協議会

議 事 の 経 過

議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項

(1) 沢池小の取り組み（夏休み～2学期）

○子どもたちと大人が協働することは大切

- ・子どもを大人の活動に巻き込む、参加させることは大切。
- ・公民館も行事が4年ぶりにできた。市長さんは地域行事で大人と子ども交じり合うこと、子どもと一緒に取り組むことが大切と言っていたが、沢池小のたてわり活動はそれを志向している。
- ・親子のつどいで豚汁を作っている場に保護者もいて、かつて自分たちが子どもの頃から地域の大人が子どものためにしてくれていたことを、今度は自分たちがやると聞いて嬉しかった。我が子にもそうあってほしい、この地域で育てていきたいと言っていた。
- ・放課後子ども教室でも、かつての児童が大学生になって手伝いに戻ってきてくれる。
- ・子どもはこの地域で守られている。

(2) 児童の健康について

(3) 校内作業について

- ・みんなの庭で作品をつくったり、野菜を子ども食堂に提供したりと、子どもたちに還元しているのが良い。

(4) 欠席等の連絡のデジタル化

○欠席連絡のデジタル化は良い

- ・不登校や登校渋りの保護者は朝の連絡が辛いこともあるので、デジタルの連絡は良い。

(5) コロナ後の学校生活について

○コロナ禍で各学年3年間、必要な人間関係づくりが欠けていることを忘れない

- ・一部の子どもの不登校傾向、対人トラブル、家庭でのトラブルに、低学年、中学年で経験すべきことが十分できていないことが遠因と感じられるケースがある。
- ・会社でもマスクを外すまで顔を知らないケースもあった。大事なコミュニケーションが欠けることはたいへん。
- ・コロナ禍の時、人づきあいが苦手な者には楽だった。もどりつつある今、（しんどいな）と思うこともある。
- ・登校見守りのなかでマスクを外せない子も少しいるが、多くの子どもは強くなった。ただ、コロナで経験できなかった影響が今後も出てくるかも知れない。

(6) 3学期のおもな取り組み